

令和5年度 鯖江市進徳小学校スクールプラン

学校教育目標 **自ら学び、自分の良さに気づき、他者を認め、互いに高め合う子 の 育成**

かがやけ進徳っ子 元気いっぱい 夢いっぱい

「にこにこ」 笑顔で生活する子
 「わくわく」 自分の成長を楽しむ子
 「どンドン」 主体的に挑戦し続ける子
 「きらきら」 自分の個性を輝かせる子

【児童の実態】

- 課題に対して真面目に取り組む子が多い
- 人懐こくて、素直に自分を表現できる子が多い
- △自分で考えて物事を進める力に課題がある
- △他者の考えをもとに考えを深める力に課題がある

【めざす学校像】

子どもの笑顔が教職員・保護者・地域を笑顔にする学校

【めざす子ども像】

㊦ ㊧ 真剣に学ぶ ㊨ 友達と仲良し ㊩ くじけない心と体

【研究主題】

自ら学び、共に高め合い、学びを深める子の育成
 ～ 深い学びにつながる授業づくりを通して～

【重点項目】

【目指す教師像】

- ・子どもの個性を尊重できる教師
- ・学び続け、挑戦し続ける教師
- ・児童・保護者・地域から信頼される教師
- ・「チーム進徳」として協働する教職員集団

【保護者・地域の願い】

- ・命を大切にし、健やかに、笑顔で生活できる子
- ・将来への夢を胸に挑戦し続ける子
- ・人に尽くす高い志をもった子
- ・ふるさとに誇りをもち、ふるさとを愛する子

確かな学力の育成

- ◎「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の実現
- ・ペアやグループ学習による対話的な学びと深い学びの実践と実現
- ・Qubena や自主学習ノートの活用による主体的な学びの実践力向上と家庭学習の習慣化
- 楽しくて分かる授業づくり
- ・UD化による分かる授業の実践
- ・研究主任を中心とした OJT の活性化
- ・若手中心の推進チームによる ICT 機器の効果的な活用法の開拓と全職員での共有ならびに PDCA による進化
- 教科担任制の推進
- ・専門性を生かした授業の質の向上
- 漢字、計算テストによる基礎学力の定着
- 進徳スタンダードの定着
- 読書活動の推進

・授業が分かると答える児童 90%
 ・Qubena を自主学習に利用した児童 90%
 ・人と協力するのは楽しいと答える児童 90%
 ・ICT 活用による授業改善を行った教員 100%

豊かな心の育成

- ◎居場所があり居心地の良い学級づくり
- ・道徳や人権教育の充実による、いじめや差別を絶対に許さない環境づくり
- ・「ありがとう」と「ごめんなさい」が言える伝わる、通じ合う、人間関係の構築
- ・児童の情報交換と共有を毎週実施
- ・悩みやいじめアンケートを毎月実施
- ・教育相談を毎学期実施
- 自己肯定感の高揚とレジリエンスの育成
- ・ポジティブ教育の積極実践と推進
- 思いやりと多様性を認め合う心の育成
- ・縦割り班活動の充実（清掃・行事）
- ・地域人材を活用した活動による、多様な他者との交流機会の設定
- ・児童会活動や委員会活動の活性化
- よりよい集団づくりを志す意識の育成
- ・規範意識と、場に応じたマナーの実践力向上、元気なあいさつの励行と習慣化

・学校が楽しいと答える児童 90%
 ・元気にあいさつができると答える児童 90%
 ・自分にはいいところがあると答える児童 90%
 ・居心地の良い集団づくりに努めた教員 100%

健やかでたくましい体の育成

- ◎体力づくりと基礎体力の向上
- ・ハッスルタイム（業間活動）の有効活用
- ・めあてをもった体育学習の実践
- 運動が好きで運動を楽しめる子の育成
- ・記録向上や目標達成の喜びを体験することによる運動好きな子の育成
- 進徳スマートルールを活用した情報モラルとメディアリテラシーの育成
- ・家庭と連携したノーメディアデーの実施
- ・SNS 等の正しい使い方の指導
- 望ましい生活習慣の確立と実践力の育成
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化
- ・歯磨きやビジョントレーニング、正しい姿勢や食に関する指導の充実
- ・家庭や学校医、養護教諭や栄養職員との連携
- う歯の治療率、眼科等の受診率の向上
- ・担任、養護教諭、家庭、学校医の連携

・運動するのは楽しいと答える児童 90%
 ・早寝・早起き・朝ご飯を守れた児童 90%
 ・進徳スマートルール守らせた保護者 90%
 ・う歯の治療率や眼科の受診率 向上

信頼される学校づくり

- ◎あらゆる事案を想定した危機管理の徹底
- ・危機管理マニュアルの適宜見直し
- ・避難訓練や防災教育の充実
- ・世間で起こる事件や事故を自分事として捉え生かすことができる教職員の育成と危機回避能力をもった組織づくり
- ・PTAや見守り隊等の地域ボランティア、公民館や児童館、民生委員との連携
- ふるさと教育・ふるさと学習の充実
- ・地域人材や学校ボランティアの活用
- ・伝統文化継承への関心の高揚
- ・地域行事の情報提供と参加の推奨
- ホームページや各種たより、メールによる積極的な情報発信
- 感染症対策の継続と有事の際も児童の学びを止めない教育活動の体制づくり
- 保幼小中連携によるスムーズな接続
- ・1人1人の情報シートの作成と継承

・ふるさと鯖江を大切に思う児童 90%
 ・地域の行事に参加した児童 90%
 ・学校の様子が伝わったと答える保護者 90%
 ・危機管理や危機回避に努めた教職員 100%

【業務改善への取り組み】 ノー残業Day（水曜）の実施、ICT の有効活用による業務や情報共有の効率化（c4th、teams・ロイロノート）、ペーパーレス化の推進、学校行事の見直し